

JR東海労ニュース

No.1663

2012年2月14日

JR東海労働組合

**えん罪・JR浦和電車区事件報告会開催
参議院議員会館に国会議員、文化・知識人、ジャーナリストなど100名が結集！**

反弹圧の闘い・組織破壊攻撃に勝利確認！

2月13日、JR総連・東労組は、参議院議員会館において、「えん罪 JR 浦和電車区事件報告会」を開催しました。報告会には、えん罪 JR 浦和電車区事件を支援・連帯し共に闘ってきた国会議員、文化・知識人、ジャーナリスト、組合員など100名が参加しました。

主催者を代表して、JR総連武井委員長は、「最高裁上告棄却は法の番人の任務を放棄した不当決定である。我々は国家権力の組織破壊を許さず、強固な団結、多くの支援者をつくりだしてきた。組織は強化され、内容上は勝利した。えん罪、政治弾圧に苦しんでいる人たちと連帯し、堂々と雄々しく闘っていく」と挨拶しました。

来賓の挨拶では、作家の佐藤優さんから、「ここ(参議院会館)で行っている、この集会は勝利集会だ。目的はJR総連・東労組を社会から孤立させ、叩きつぶすことだった。しかし、国会議員、文化・知識人など、大きな団結の輪の広がりをつくった」と高らかに勝利宣言が発表されました。

また、新党大地・真民主鈴木宗男代表は、「国家権力は事件のシナリオをつくる。起訴されて、99,9%が有罪になる。これで法治国家といえるのか。世論に喚起し、悪しき権力と断固闘う」と力強く訴えました。さらに、今野東参議院議員、谷博之参議院議員、松木兼公衆議院議員、黒田雄衆議院議員など多くの議員・秘書の皆さんが続々駆けつけ挨拶にたちました。そして、ジャーナリストの魚住昭さん、作家の宮崎学さんからも、「闘いは勝利した」と激励を込めた挨拶があり、挨拶の締め括りに、一水会・木村三浩代表から「デッチ上げでえん罪をつくってはいけない。すべての国民が法の下に平等でなくてはならない。マスコミは事実を報道し、誤りを批判しなくてはならない」と訴えました。最後に、美世志会上原代表からお礼の挨拶があり、「上告は棄却されたが、我々は負けなかった。社会には、えん罪で一人悩み苦しんでいる人たちが多くいる。えん罪をなくすためにネットワークをつくり闘っていく」と力強く決意を述べました。



美世志会と共に社会正義の闘いを推し進め、えん罪のない社会を目指そう！